

セブン&アイは「エコプロダクツ2013」に出展いたしました。

開催日：2013年12月12日(木)～14日(土)

出展内容：

①グループの最新の省エネ技術や「セブンの森」森林保全活動を、最新の映像技術でご紹介しました。

- ・太陽光発電、LED、蓄電池、地中熱などの最新の省エネ技術
- ・間伐材等を有効活用する「セブンの森」森林保全活動
- ・セブン-イレブン記念財団の自然環境保護・保全活動、セブン銀行の富士山清掃活動



メイン企画「セブン
 プレミアムシアター」



シアター内では、映像とともに、ナレーターが説明をしながら約8分間の映像をご覧いただきました。映像には、最新映像技術3Dプロジェクションマッピングを用いました。
 (→この映像を
ご覧いただけます。)

会場は100席あり、3日間とも全回満席となり、多くのお客様に私たちの取り組みを知っていただくことができました。



入場にはたくさんのお客様にお並びいただきました。お待ちいただいている間は、頭上にあるモニターから、インフォグラフィックス映像(情報を視覚的に表現)で日本の森林の課題点をわかりやすくご紹介しました。
 (→この映像を
ご覧いただけます。)

②長野県埴科郡坂城町にある「セブンの森」の間伐材を利用した商品を展示しました。



プライベートブランド「セブンプレミアム」の紙製飲料。アルミでもスチールでもなく、カートカンという国産木質材を使った容器です。



飲んで気軽にエコ参加
この商品の容器はセブン&アイ・ホールディングスとセブン-イレブン記念財団が森林保全活動を行う「セブン&アイの森」から伐採した間伐材を含む、30%以上の国産材を使用しています。

※国産木材を30%以上使用したカートカンは、国産材の利用を促進、「植える→育てる→収穫する→植える」というサイクルに寄与し、健全な森林を保全することにつながります。地球温暖化の原因といわれるCO2の吸収を促すことで地球温暖化防止に貢献できます



イトーヨーカドー店舗に設置している「セブンの森」の間伐材で作ったリサイクルボックス



イトーヨーカドー店舗に設置している、「セブンの森」の間伐材で作ったベンチ



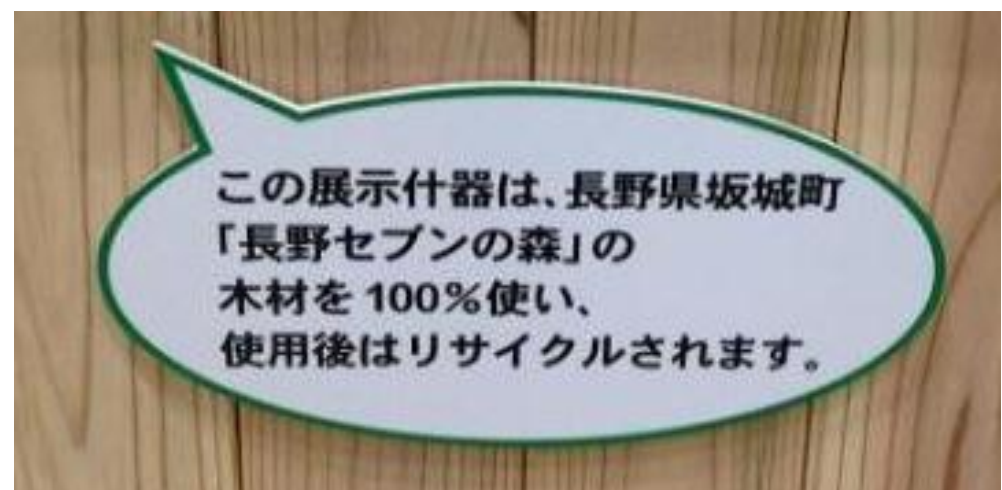
募金箱も間伐材に。セブン-イレブン店舗の募金箱は、2014年夏から新店舗で設置予定です。



おが粉を固めたストーブの燃料「ペレット」。長野県のイトーヨーカドー、セブン-イレブンの一部店舗で販売しています。



2014年から変更するグループ社員の名刺も展示。「セブンの森の間伐材を含む紙を使用しています」のコピーが入っています。



ブース内の什器にも「セブンの森」の間伐材を使用。展示会終了後は廃棄せず、リサイクルされます。

③セブン銀行が継続して協賛している絵本『森の戦士ボノロン』の特別号とバックナンバーの配布や、富士山清掃活動の様子を報告しました。



セブン-イレブンの店頭で無料配布している「森の戦士ボノロン」の絵本を配布。



実際にボノロンが登場して一緒に撮影。みんなニコリでした。



ブースの運営はグループ社員が務めました。

メイン企画の「セブンプレミアムシアター」は約1万人の方にご覧いただきました。またブースにも多数のご来場をいただきまして誠にありがとうございました。